

# 清らかな水を守り活かす、 阿賀野川上流域の 持続可能な豊かさとは？

## 開催レポートをお届けします！

事前座学  
講座

9/3 (日)

参加者45名  
(オンライン含む)

当日のYouTubeでの動画  
配信は、右のQRコードから  
ご覧いただけます。



▲木舟に乗船して、阿賀野川の舟運  
体験を満喫する参加者の皆さん

### 阿賀野川流域における水環境のSDGs<sup>※</sup>を 上流域の自然や歴史、企業の取組から考える

※SDGs:「Sustainable Development Goals」(=持続可能な開発目標)の略称。詳細はP.2参照。

阿賀野川上流域の水環境を、  
3日にわたって丸ごと学び体感  
令和5年度は9月中旬に、阿賀野川  
上流域における水環境の現在を学  
ぶ座学や現地ツアーなどを、のべ3  
日にわたって開催しました。

座学では、麒麟山酒造(株)常務取締役  
の漆原典和さんから、同社の環境  
を守る取組などを発表いただき、平  
場のコシヒカリと阿賀町産酒米との  
食べ比べも行つたなど、現地ツアーの  
内容について事前に学習しました。

その後の現地ツアーでは、麒麟山  
酒造(株)の見学や阿賀野川の舟運体  
験などの多様な学習機会を通じて、  
「阿賀野川流域における水環境のS  
DGs」への学びを深めました。



▲当日ゲストの江花一実さん(左)と麒麟山酒造(株)常務取締役・漆原典和さん(右)



ご意見・ご感想  
参加者の

9/3

●とても中身の濃い講座で、有識者から様々な写真や地図等を用いてお話を伺え、分かりやすくとても勉強になった。予備知識を持って現地訪問できるのはありがたい(新潟市中央区・70代)／●麒麟山酒造が米づくりや森づくりから取り組んでいるのは驚きだった。約30年前から研究会を立ち上げての米づくり、SDGsの先駆けだと思う。なんと視野広く考えておられたかと感動した(阿賀野市・70代)／●自分の住む県の自然や歴史について知ることは大切なことだと思うので、このプロジェクトを続けてほしい(新潟市中央区・10代)／●「知る」ことが大事で、隠すことなく過去のことは過去のこととして、二度と繰り返さないようにすることが必要。公害で苦しむ人がいなくなる世界になってほしい(新潟市中央区・70代)

P.4全体及びP.5の9/16(土)に掲載された写真は、出典のある写真を除いて、山口冬人氏による撮影

現地バス  
ツアー #1  
9/9 (土)

参加者34名

▲麒麟山酒造(株)  
社員の皆さんによる  
酒米の稲刈りを見学

▲貯蔵棟(鳳凰  
蔵)を見学

▲麒麟山酒造(株)の酒蔵  
(麒麟蔵)を見学

▲麒麟山酒造(株)  
による植林活動

麒麟山酒造(株)提供

▲七福荘の  
蕎麦・山菜・焼きイワナの御膳



▲貯蔵棟(鳳凰蔵)を見学



麒麟山酒造(株)提供

▲水源のブナ林  
をガイドが案内



▲湧水で  
淹れたコーヒー



麒麟山酒造(株)  
の取組を見学し、  
▲中道清水  
水源のブナ林を体感

ご意見・ご感想  
参加者の

9/9 ●麒麟山酒造の社員の皆さんが一生懸命稲刈りをされている姿に感動(阿賀野市・70代)／●麒麟山酒造は美味しい酒造りだけでなく、それを持続可能にするための高い視点を持って事業をしておられることに感銘を受けた(新潟市中央区・40代)／●水や米などの豊かな環境が整っていないと、美味しい酒づくりには繋がらないことを痛感した(新潟市中央区・60代)／●麒麟山酒造の一連の取り組みや酒造りが分かり、とても良かった。SDGsにかなった自然を大切にしている酒造りに感銘を受けた(新潟市江南区・60代)／●人の利用の有無も、ブナ林の形成に影響を与えていて、興味深かった(新潟市江南区・60代)／●ブナ林でのガイドのお話と湧水で淹れたコーヒーが最高!(新潟市江南区・60代)

現地バス  
ツアー #2  
9/16 (土)

参加者34名

▲阿賀野川の川魚の  
特徴を学ぶ  
ミニ講義

▲木舟に乗船して  
阿賀野川を  
手漕ぎ遊覧



▲日本で初めて  
阿賀野川水系  
で発見された  
ウケケチウグイ



▲農家カフェお茶の間久太郎  
の特製弁当



▲津川の  
河港

▲津川河港を  
まち歩き



▲旧昭和電工(株)  
鹿瀬工場正門前

▲現在の▲  
工場排水の  
処理施設



木舟に乗船して  
阿賀の舟運を体感し、  
産業の光と影をたどる

ご意見・ご感想  
参加者の

9/16 ●木舟の乗船体験は初めてで感激。船上から見る本尊岩や旧昭和橋も絶景だった(新潟市東区・60代)／●木舟の乗船体験は大変楽しく、昔の人たちが過ごした時間を味わうことができた(新潟市北区・70代)／●阿賀野川の川魚ミニ講義では、珍しい魚がたくさん分かり勉強になった(新潟市江南区・60代)／●河港のまち歩きでは津川の今昔を知り、江戸・明治期の繁栄や明治のイザベラ・バードが川下りした様子が思い浮かんだ(新潟市東区・70代)／●再び過ちを繰り返さないよう、新潟昭和(株)が現在も排水を処理しているとの説明がためになった(新潟市東区・60代)／●新潟水俣病は詳しくなく、これから勉強したい。議論も白熱し、すごく良かった(新潟市北区・60代)

ウケケチウグイの写真:「山溪ハンティ図鑑15 増補改訂 日本の淡水魚」(編・監修:細谷和海、写真:内山りゅう、解説:藤田朝彦・武内啓明・川瀬成吾/株式会社山と溪谷社)掲載